

学校教育目標	なかよくかがやいて おたがいに高め合う子 ○課題解決に向けてねばり強く取り組む子を育てます。(知) ○触れ合いを通して、人を思う心を育てます。(徳) ○心身を鍛え、自他の生命を大切にすることを育てます。(体) ○地域や人とのつながりを大切にして共に生きる子を育てます。(公) ○社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。(開)					
	学校概要	創立 48 周年	学校長 丹野 一郎	副校長 佐藤 真之	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 4
児童生徒数: 289 人		主な関係校: 横浜市立希望が丘中学校・東希望が丘小学校・笹野台小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	東希望が丘中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>〈問題解決能力〉 〈自分づくりに関する力〉 〈持続可能な社会の実現に資する能力〉</p>	<p>希望が丘中学校 東希望が丘小学校 笹野台小学校 中尾小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に柔軟に向き合い、主体的に学び続ける子ども ・互いを認め合い、社会とのかかわりを大切にすることを ・目標に向かってチャレンジし、自信をもって行動できる子ども ・横浜市学力学習状況調査の結果を分析・活用することにより、中学校区の子どもの特性を理解し、授業改善を図る。 ・児童生徒指導や特別活動、特別支援教育の情報交換を行う。 ・交流日には、小学校と中学校の授業を相互に見学し、教職員だけでなく子どもの声を取り入れ、授業力向上とよりよい子ども像の共有・育成を目指す。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもや教職員、保護者、地域の方々にとって笑顔あふれる学校づくりを目指します。 ・主体性とコミュニケーション能力の育成を重点化し、教育内容を精選、実践します。 ・分かる授業、みんなが参加できる授業づくりを行います。 ・問題行動(いじめや不登校など)未然防止のための取組を教職員一丸となって行います。 ・心身ともに健康な子どもの育成のために、心と身体のバランスを考えた健康教育を行ってまいります。 ・地域をはじめとした様々な人とのつながりを大切に、自分のまちを愛する心を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①ESDの視点を踏まえた授業づくりを進める中で、児童が「見通し」や「必要感」をもって学習に取り組めるよう問題解決的な学習の過程を大切に授業改善に取り組む。②全学年で国語科を中心に、重点研や重点研ウィークで授業改善に取り組み、対話を通して主体的・対話的な深い学びを促す授業づくりや支援のあり方について、外部講師による研修会や授業研究会を実施し理解を深めていく。
徳 豊かな心	①あいさつや言葉を大切に教育を推進し、「人との関係をつくる力」「自分を大切にできる力」「社会の中で生きる力」をバランスよく育成する。②異学年交流「ふれあい学年交流」や道徳、特別活動を充実させ、子どもたちが互いのよさを認め、人権を尊重し、相手の立場を考えて行動しようとする態度を育成する。
体 健やかな体	①年間を通して「歯の健康」を促進する活動(給食後の歯磨き、家庭と連携した歯磨きチェックなど)に取り組む。②「食」に対する関心を高める取組を推進したり、委員会の活動などで、長縄集会などを行い、運動しやすい環境を整えたりするなど、たくましく生きようとする体力を育て、心と身体のバランスのとれた健康教育を行う。
公開 自分づくり教育(キャリア教育)	①「自分づくり・パスポート」を活用し、自分自身をふり返ったり、社会や将来を意識し、学ぶことや働くことの意義を考えたりできる場を定期的につくる。②学習の中で、子どもたちが社会で活躍している人の講話を聴く機会を積極的に設け、キャリア教育に役立てる。
いじめへの対応	①全職員がいじめを積極的に認知していく。②児童及び保護者の心情に寄り添った対応を心がける。③事例検討会等で職員研修を実施し、対応スキルの向上を図る。
人材育成・組織運営(働き方)	①ミドルリーダーが学校運営の視点をもって職務遂行できるよう、指導、助言の充実を図る。②教職員の研修等を充実させ、授業力や児童理解力の向上を図る。③ICTを活用した事務作業や情報共有の効率化、会議や業務の精選などを通して、組織の活性化を図る。
特別支援教育	①特別支援推進校として保護者や児童の思いや願いを大切にしながら本当の意味でのインクルーシブ教育を推進していき、特性をもつ児童もそうでない児童もともに学べる環境を作る。②保護者と共通理解を図った上で特別支援教室やセンター的機能を活用しながら合理的配慮や環境調整などを行い、適切な支援につなげる。
学校運営協議会 地域学校協働活動	①PTAや地域コーディネーターの協力を得ながら、地域協働型の教育活動を推進し、子どもの問題解決能力の育成を目指すと共に、子どもたちが安心して安全な学校生活を送ることができるために、協力体制を整える。②学校運営協議会の開催や地域防災訓練などへの積極的な参加を通して、地域との連携を深める。
情報教育 GIGAスクール構想	①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るため、AIドリルやデジタル教科書などのICTを用いた効果的な支援の在り方について、研修や校内での実践交流を通して学ぶ機会を設ける。②授業準備や成績処理などの事務作業の効率化を図り、ICTの活用による働き方改革の推進を図る。③情報モラル教育の充実を目的とした、職員研修や指導の一体化を図る。
SDGs達成の担い手育成(ESD)	①持続可能な社会の実現を目指して、企業や行政、地域と積極的に関わりながら、新たな価値観を見出したり、行動変容をもたらしたりするような教材の選定や学習活動の工夫を大切にする。②持続可能な社会づくりの構成概念(6つ)とESDの視点に立った能力・態度(7つ)を意識した授業づくりに取り組む。
担当	ESD担当